



### ★医学科6年生が選ぶ教育ベスト1★

豊島 将文 婦人科

この度2012年度教室員会 The Best Teacher Awardsを受賞致しました。昨年度は教育専任として医学部学生と直接に接する機会が多かったので、この賞を頂けて本当にうれしく思います。また一緒に講義を担当して頂いた産婦人科教官の皆様にも感謝しております。

さて、産婦人科では実習に回る学生に、必ず一人ずつ経膈分娩のお手伝い（見学ではなく！）ができるように手配をします。経膈分娩は人それぞれ経過がかなり異なり、すぐ生まれる安産の人でもいれば長時間苦しい思いをする人もいます。しかも生まれる時間が計算できないという特徴もあります。その様な千差万別な経過を妊婦さんと共に過ごし、出産の喜びを分かち合うという体験をしてもらうのがプログラムの狙いです。出産自体は産婦人科に特有のものではありますが、患者に寄り添い共に時間を過ごすという経験自体は医師として共通の基本的な心がけを育てるのに必要だと考えています。長時間、時には深夜に妊婦さんと一緒に頑張ったみんな、本当にお疲れ様でした！

教室委員会だよりVol.19Summer No.2(2013年7月発行)より転載